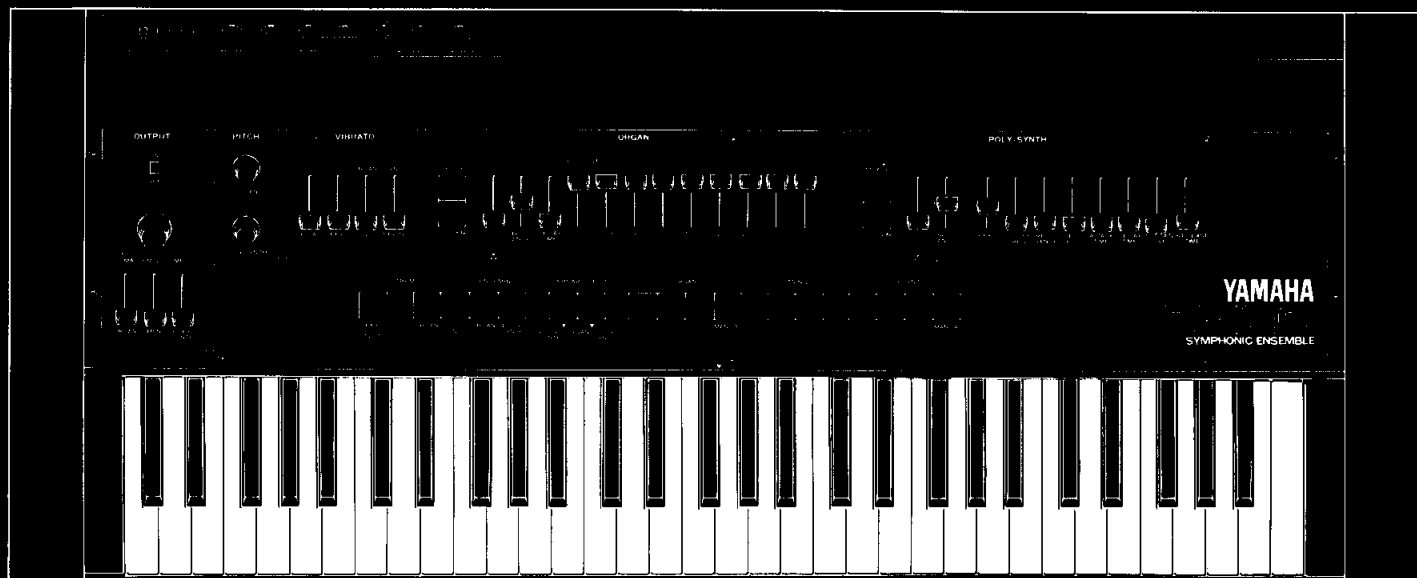


# YAMAHA

# SK20

SYMPHONIC ENSEMBLE

取扱説明書



# 目次・ごあいさつ

このたびは YAMAHA シンフォニックアンサンブル SK20 をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。SK20 はオルガン、ストリングスに加えてポリシンセとしての機能をあわせ持つキーボードです。さらに SK20 は同時に7音、キーボードスプリット機能の使用により最大14音までのポリフォニック演奏ができ、丰厚的サウンドをお楽しみいただけます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、SK20 を末永くご愛用ください。

目 次	ページ
ご使用前に/次のことにご注意ください	2
各部の名称と機能	3
接続のしかた	5
操作のしかた	6
OUTPUT/PITCH ブロック	6
ORGAN ブロック	7
POLY-SYNTH/STRING ブロック	9
エフェクターブロック	13
ブロックダイヤグラム	15
参考仕様	16
サービスについて	17

# ご使用の前に／次のことにご注意ください

## 設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

## 無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

## 電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

※本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外(例えば200V)の電源には絶対に接続しないでください。

## セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。

## 接続について

5ページの「接続のしかた」をよく読み、正しく接続をしてください。

また、スピーカー破損防止のため機器接続の際は、それぞれの電源スイッチをOFFにしてからおこなってください。

## 外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。

お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

## 保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

## 落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

## 他の電気機器への影響について

SK20はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなど他の電気機器を同時にご使用になりますと、雑音や誤動作の原因となることがあります。ラジオやテレビなどの電気機器から充分離してご使用ください。



これは電子機械工業会「音のエナクト」キャンペーンのシンボルマークです。

## 音楽を楽しむエナクト

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適度な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなでお楽しみもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

# 各部の名称と機能

## OUTPUT ブロック

ORGAN, STRING, POLY-SYNTH の音量をコントロールするブロックです。

## PITCH ブロック

調律のツマミです。オルガン部とポリシンセ部のそれぞれをチューニングすることができます。

## VIBRATO ブロック

ビブラート効果をコントロールします。ディレイビブラート（音の始めから少し遅れてビブラートがかかる）効果により、よりリアルなサウンドが得られます。

## TREMOLO / ENSEMBLE

軽快なトレモロ、重厚なアンサンブル効果をワンタッチで選べるエフェクターコントロールです。

## KEYBOARD SPLIT

鍵盤を分割してアツパーキー、ローワーキーでオルガン、ポリシンセ（ストリングス）を別々に演奏できます。一台で二台分のマルチキーボード効果が可能です。

## ORGAN ブロック

オルガン部をコントロールするブロックです。ORGAN スイッチによりプリセットされた3つの音色をワンタッチで選べるほか、MANUAL セードにするとパネルのトーンレバーにより自由に音色をつくることができます。

## DECAY, SUSTAIN

打楽器のような減衰音（DECAY）、離鍵後の余韻（SUSTAIN）を作るときのスイッチです。

## BRILLIANCE

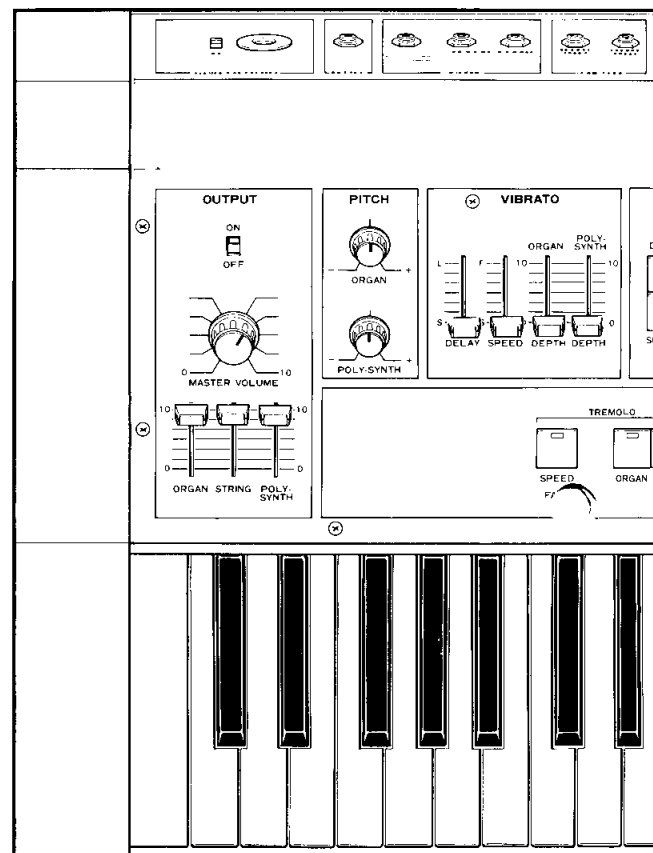
音色の総合的なコントロールレバーです。

## PERCUSSIVE

音の立上りのときの音色をコントロールします。

## 16'-1', トーンレバー

倍音の量を加減して音色をコントロールするレバーです。



本文に詳しい説明があります。実際に動作を確認しながら理解してください。

## POLY-SYNTH ブロック

ポリシンセ, スtringsをコントロールするブロックです。

FEET スイッチから右側にあるコントロールは全てマニュアルモードのためのコントロールです。

### SLOW ATTACK, SUSTAIN

音の出始め, 消え方をゆるやかにするコントロールです。音量のエンベロープジェネレーターに相当します。

### BRILLIANCE

音色の総合的なコントロールレバーです。

### FEET

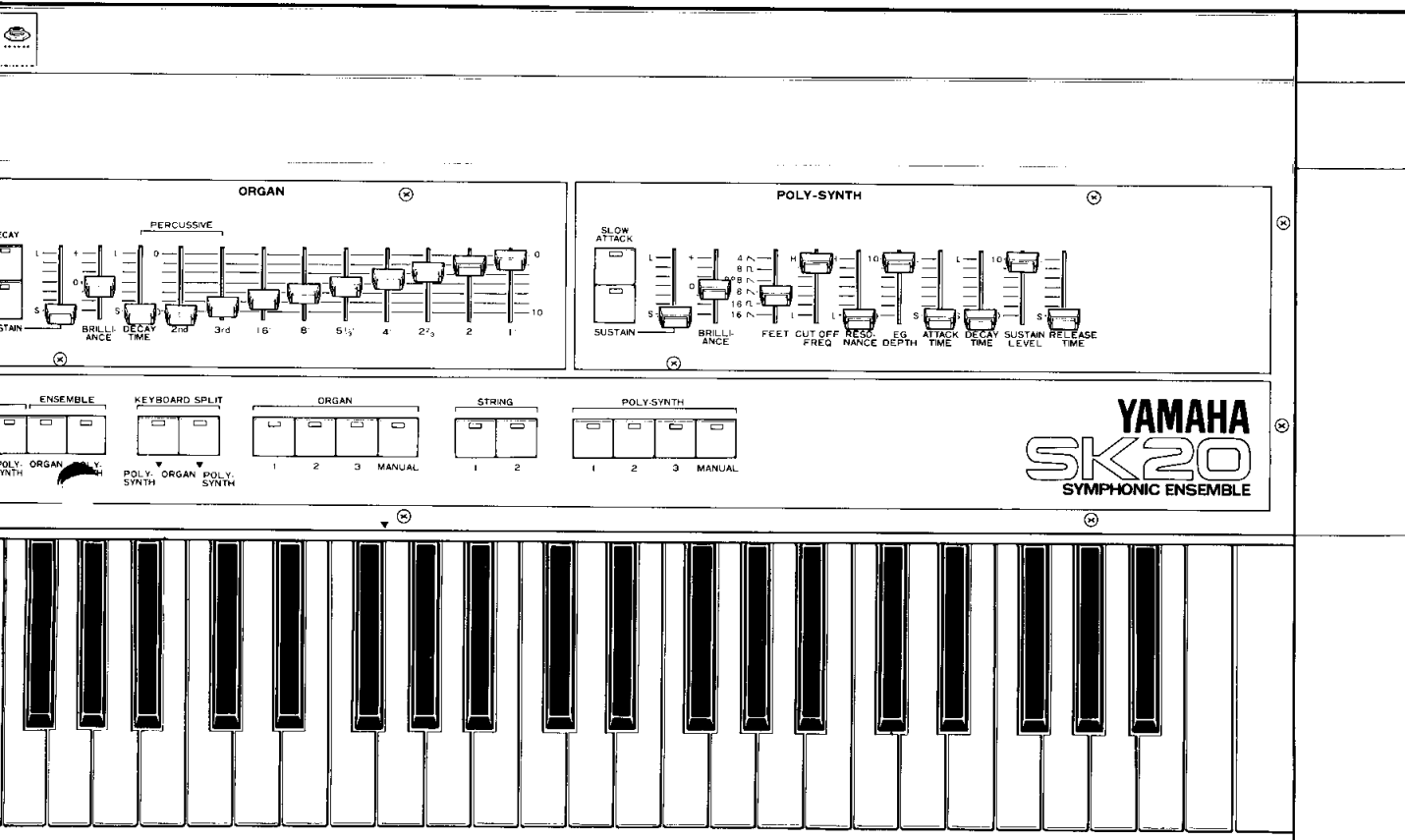
ポリシンセ部のマニュアルモードで使用する音源を選ぶコントロールです。

### CUT OFF FREQ, RESONANCE

フィルターのカットオフ周波数などをコントロールして基本的な音色をつくります。

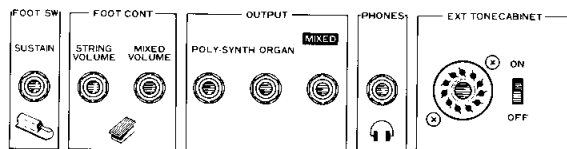
### EG-DEPTH, ATTACK TIME, DECAY TIME, SUSTAIN LEVEL, RELEASE TIME (エンベロープジェネレーター)

音色に時間的な変化を与え, シンセサイザー独特のマニュアルサウンドをつくるためのエンベロープジェネレーターです。



## リアパネル

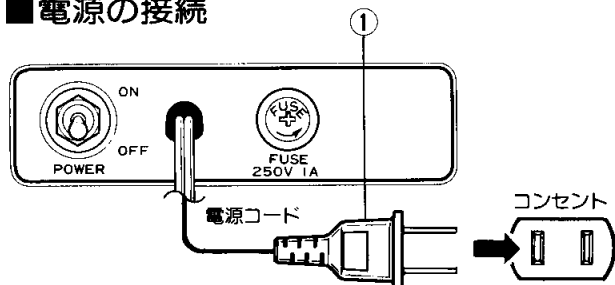
キーボードアンプ, ヘッドフォンなどへの出力端子, フットペダルなどのコントロール入力端子及び, レスリへの出力端子があります。



# 接続のしかた

SK20にはパワーアンプは内蔵されていません。従ってSK20を演奏するときはヘッドホーンだけを使用するときを除き、キーボードアンプなどのパワーアンプ、スピーカーを接続することが必要です。

## ■電源の接続



### ①電源コード

プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。  
SK20の消費電力は30Wです。

### ●ヒューズについて

ヒューズが切れた場合、故障などの原因が考えられます。最寄りのヤマハサービス網にご連絡ください。

## ■アンプ、スピーカーの接続

### OUTPUTブロック

出力レベルは-10dBm/600Ωで一般的なキーボードアンプの入力レベルに適合します。

### ②MIXED ミックス出力

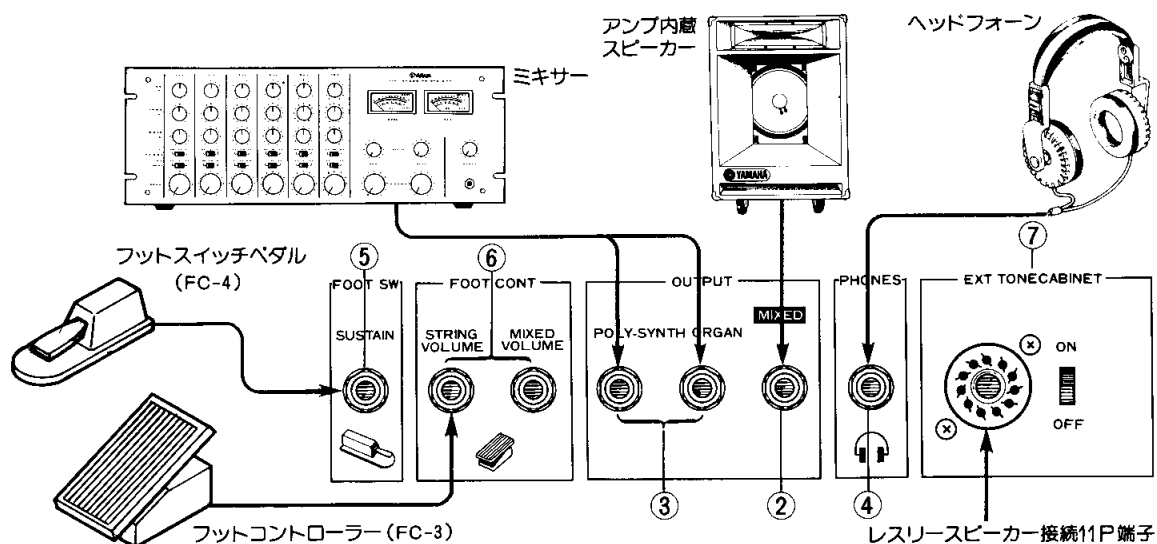
一系統（またはモノラル）のアンプ、スピーカーをご使用になるときに使用するミックス出力端子です。

### ③スプリット出力

ミキサーやステレオアンプなどを使用するときの出力端子です。オルガン部とストリングス/ポリシンセ部とをそれぞれ分離して出力することができます。

### ④PHONES ヘッドフォン出力

ヘッドフォンを接続します。MIXED出力と同じミックスされた音が出されます。



## ■別売りアクセサリーの接続

### ⑤FOOT SW (SUSTAIN) フットスイッチ

サスティーンをコントロールするフットスイッチを接続します。

### ⑥FOOT CONT フットコントロール

音量をコントロールするフットコントローラーを接続します。

### ⑦EXT TONECABINET

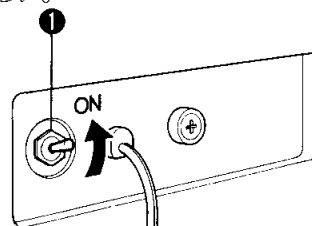
レスリースピーカー（モデル #715, #815 など）を接続する11P端子と出力スイッチです。この端子にレスリースピーカーを接続すると、SK20のパネル操作でレスリースピーカーのON/OFF、スピードをコントロールすることができます。詳しくは13ページのTREMLO / ENSEMBLEの項をご参照ください。

# 操作のしかた OUTPUT/PITCH ブロック

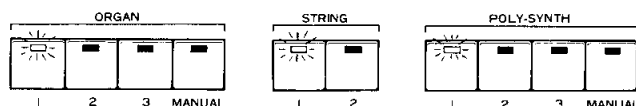
接続が終わったら、もう一度誤りがないかどうかチェックしてください。次に各ブロック毎に説明していきますので、MIXED 端子にアンプ、スピーカーを接続し、実際に音を出してたしかめてください。

## ① POWER 電源スイッチ

電源スイッチは背面の電源コードのとなりにあります。このスイッチを上側にすると電源が入り、プリセットトーンの ORGAN 1, STRING 1 及び POLY-SYNTH1 が自動的にセットされ、そのインジケータが点灯します。



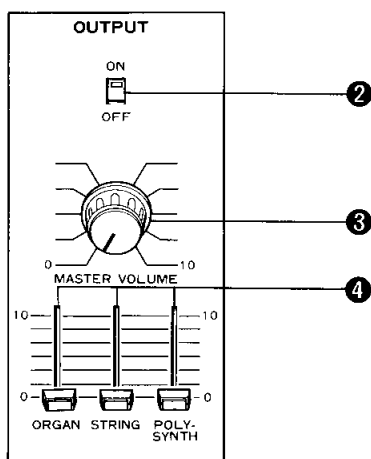
初期状態



電源ONで自動的に“1”にセットされる

## OUTPUT ブロック

この状態で OUTPUT ブロックをコントロールするとそれぞれのプリセット音を演奏することができます。



## ② LINE OUT スイッチ

このスイッチを ON にすると SK20 とアンプとつながります。ヘッドフォンだけを使用して音づくりをするときなど OFF にします。

## ③ MASTER VOLUME マスターボリューム

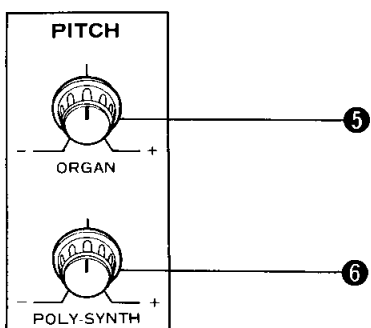
MIXED 出力及びヘッドフォンの音量をこのボリュームで調整します。

## ④ ORGAN, STRING, POLY-SYNTH レバー

オルガン部、ストリングス部及びポリシンセ部のレベルをそれぞれ独立してコントロールできます。それぞれのレベルの割合をこれらのレバーで調節します。スプリット出力 (ORGAN, POLY-SYNTH) の音量調整はこれらのレバーで行います。

## PITCH ブロック

他の楽器と合奏するようなとき、ピッチを合わせるチューニングブロックです。



## ⑤ ORGAN オルガンピッチ

オルガン部のピッチを合わせます。

## ⑥ POLY-SYNTH シンセサイザーピッチ

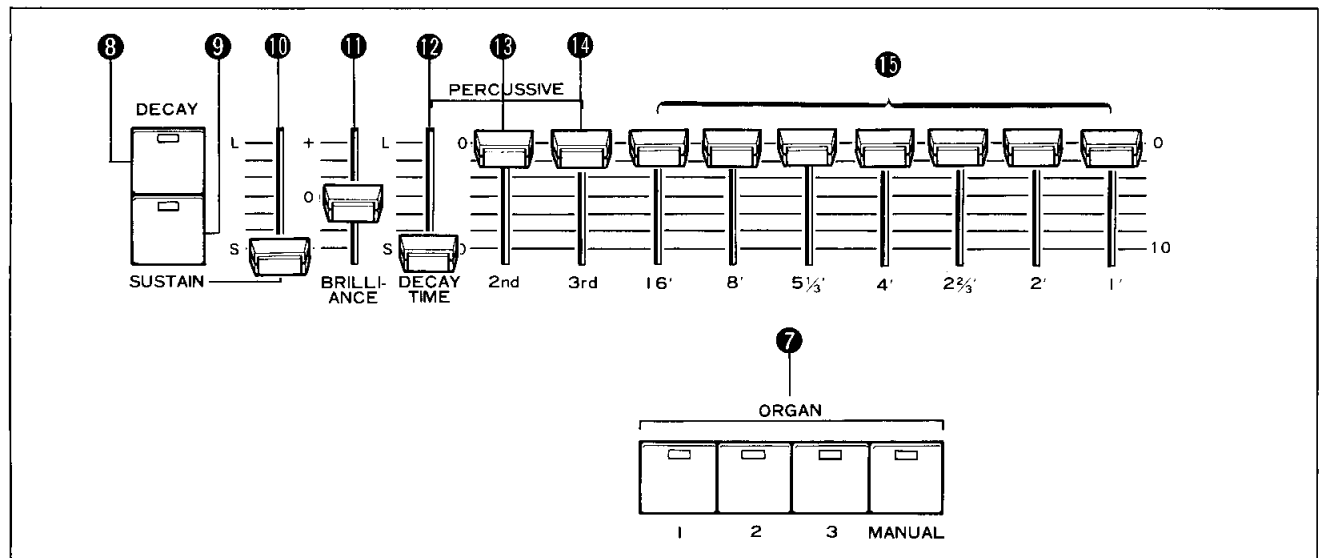
ポリシンセ及びストリングスのピッチを合わせます。

## ● DETUNE 効果

オルガン部とポリシンセ部のピッチをわずかにずらしてチューニングすることを DETUNE、デチューンと言い、ハーモニー効果が生れます。

# 操作のしかた ORGAN ブロック

音色がプリセットされた ORGAN 1~3 とマニュアルコントロールにより音色を自由にセットできる MANUAL とがあり、電源 ON 時は ORGAN 1 に初期設定されます。プリセット音はトーンレバーが内部的に設定されているもので、パネル部の DECAY, SUSTAIN スイッチ, PERCUSSIVE レバーなどのコントロールはプリセット音に対しても働きます。オルガン部の動作を確認するために OUTPUT ブロックの ORGAN のミキシングボリュームを上げてください。



## ⑦ ORGAN スイッチ

音色がプリセットされた ORGAN 1~3 及びパネル上の 16'~1' レバーにより自由にセットできる MANUAL があります。スイッチを押すと、選択されたボタンのインジケータが点灯します。

## ⑧ DECAY スイッチ

DECAY スイッチを押して ON にすると、打楽器のような減衰音になります。音量は打鍵直後に最大になり、その後音量は鍵盤を押している間、徐々に小さくなります。減衰中に鍵盤を離すと音は消えます。減衰のしかたはレバー⑩によりコントロールします。スイッチをもう一度押すと OFF になります。

## ⑨ SUSTAIN スイッチ

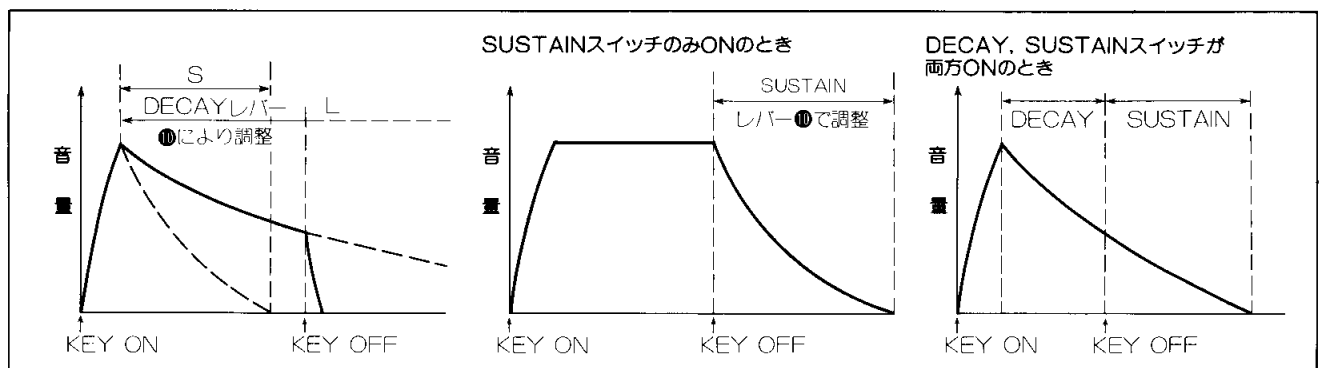
SUSTAIN スイッチを押して ON にすると、離鍵後、音量が徐々に小さくなるサステーン音になります。余韻の長さはレバー⑩でコントロールします。スイッチをもう一度押すと OFF になります。

●DECAY スイッチ⑧と SUSTAIN スイッチ⑨を両方 ON にした場合、打鍵後、離鍵にかかわらず音量は減衰しつづけます。

## ⑩ DECAY, SUSTAIN レバー

DECAY および SUSTAIN の長さをコントロールするレバーです。レバーを L 側に上げるほど DECAY, SUSTAIN の時間が長くなり、ゆるやかな減衰音および余韻が得られます。

## DECAY と SUSTAIN





## ⑪ BRILLIANCE レバー

音色を調節します。レバーを+側にすると音色は明るくなり、-側にするとソフトな音色になります。

- ふつうは 0 (中央: クリックストップ位置) にしておき、曲のふんわりや好みにより音色を一時的に明るくしたいときやソフトにしたいときなどに使用すると便利です。

## ⑫ トーンレバー (16' ~ 1')

ORGAN スイッチで **MANUAL** を選んだときだけこれらのレバーで音色をつくることができます。一般的に楽器の音色は、音程を決める基音に対して倍音がどう含まれているかで決まりますが、トーンレバーは音色を決める倍音を付加していくことにより音色づくりを行うものです。16' から 1' になるほどより高次の倍音をコントロールすることができます。

## PERCUSSIVE パーカッシブ

### ⑬, ⑭ & ⑮ DECAY TIME, 2nd & 3rd レバー

音の出始めの音色を強調してパーカッシブな音をつくります。2nd (2倍音) ⑭ 及び 3rd (3倍音) ⑮ のレバーを10方向、下側にすると打鍵時にこれらの倍音が付加され、音の出始めの音色を特徴づけることができます。DECAY TIME レバー⑬をL側にすると、パーカッシブ効果はゆるやかになります。

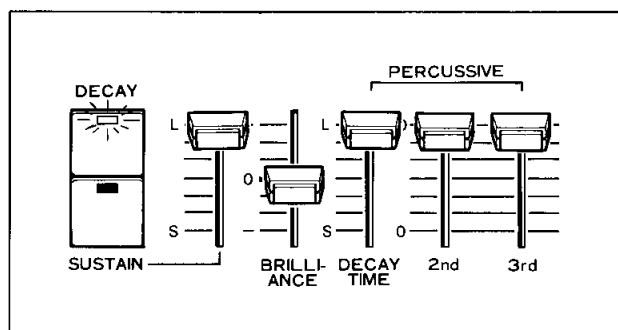
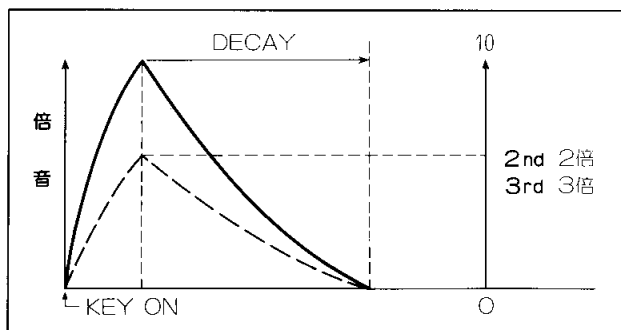
- 鍵盤がすでに押されており、パーカッシブ効果が終わったあとでは、次に押した音程にはパーカッシブ効果はありません。

## ■参考例

### 1. ピアノの音をつくる。

- ORGAN 1 を選ぶ
- DECAY スイッチを ON にする。
- DECAY, SUSTAIN レバーを L 側いっぱいにする。

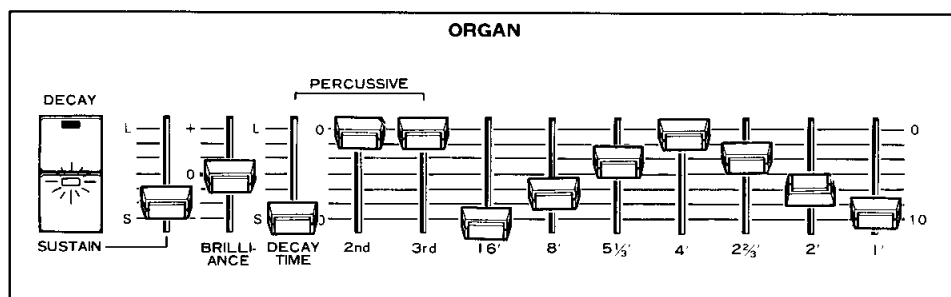
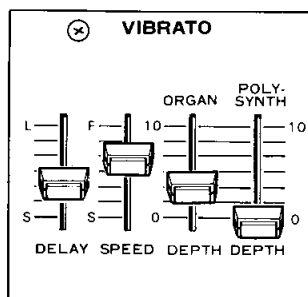
以上でピアノのような減衰音が得られます。パーカッシブの 2nd のレバーを少し下げ、アタック音をやや強調してもよいでしょう。



### 2. VIBRATO のきいたマニュアルサウンド

- MANUAL を押し、オルガン部のトーンレバーを図のようにセットします。高域を上げているのでビブラートが効果的にかかります。

- ディレイビブラートをかけます。VIBRATO ブロックを図のようにセットしてください。

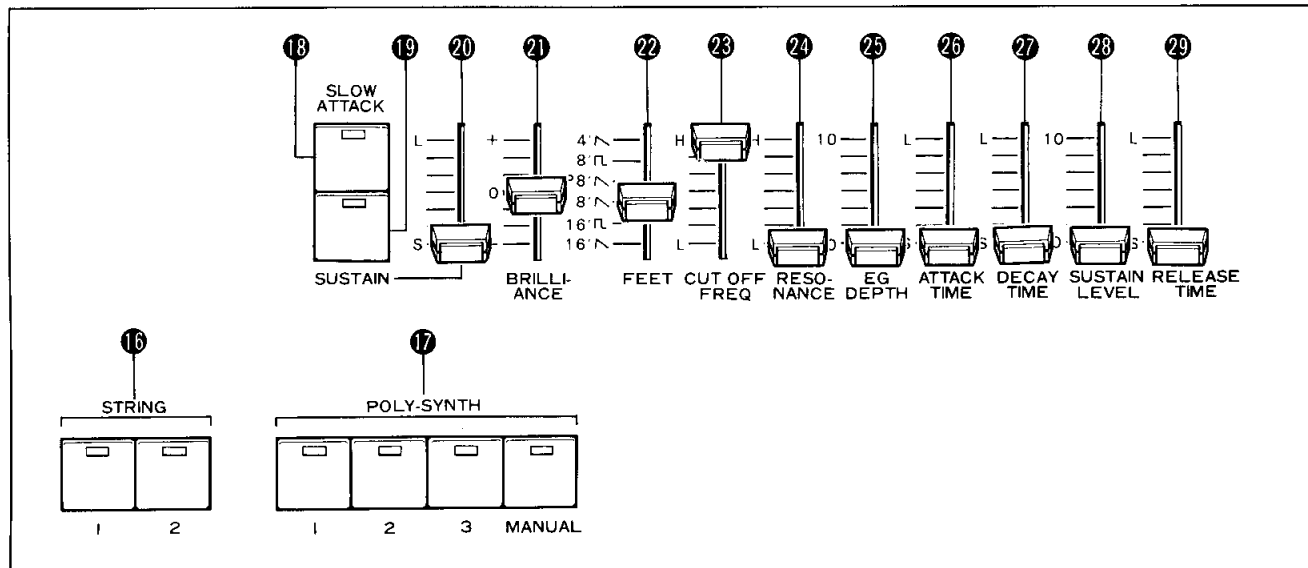


# 操作のしかた POLY-SYNTH/STRING ブロック

ポリシンセ部はプリセットされた音色の **POLY-SYNTH 1, 2** 及び **3** とマニュアル操作により音色のエンベロープをコントロールできる **MANUAL** がありスイッチで選択することができます。

ストリングスにはプリセットされた音色の **STRING 1, 2** があり同様にスイッチで選べます。

ポリシンセとストリングスは異った音色として独自に出力されますが、音源が共通であるためポリシンセ部のコントロールパネルは一部共通しています。



## ⑩ STRING スイッチ

**STRING 1** または **STRING 2** を選択します。電源スイッチ ON 時は **STRING 1** に初期設定されます。

- リアパネルの **FOOT CONT** 部の **STRING** 端子にフットコントローラーを接続するとストリングスの音量だけをコントロールすることができます。これにより、ストリングスサウンドのフェードイン、フェードアウトが可能になり、効果的な演奏ができます。

## ⑪ POLY-SYNTH スイッチ

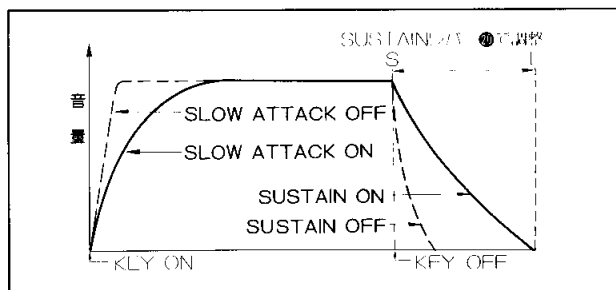
音色のエンベロープがプリセットされた **POLY-SYNTH 1, 2** 及び **3** と、音色のエンベロープをパネル上でセッティングできる **MANUAL** を選択します。電源スイッチ ON 時は **POLY-SYNTH 1** に初期設定されます。

## ⑫ SLOW ATTACK スイッチ

**SLOW ATTACK** スイッチを ON にすると、鍵盤を押してからの音の立上りがゆるやかになります。

- スローアタックは **SUSTAIN** レバー⑳とは関係なく、ゆるやかな立上りが得られます。

## SLOW ATTACK および SUSTAIN



## ⑲, ⑳ SUSTAIN スイッチ, レバー

**SUSTAIN** スイッチ⑲を ON にすると、サステーン音が得られ、音量は離鍵後ゆるやかに小さくなります。余韻の長さは **SUSTAIN** レバー⑳でコントロールします。

## ㉑ BRILLIANCE レバー

音色を調節します。ストリング及びポリシンセの全てに対して働き、+側にすると音色が明るくなり、-側にするとソフトな音色になります。

- SLOW ATTACK** ⑫, **SUSTAIN** ⑲, サステーンレバー⑳及び **BRILLIANCE** ㉑レバーのコントロールは、ストリングス及びポリシンセ（プリセット音を含む）に対して同様に働きます。

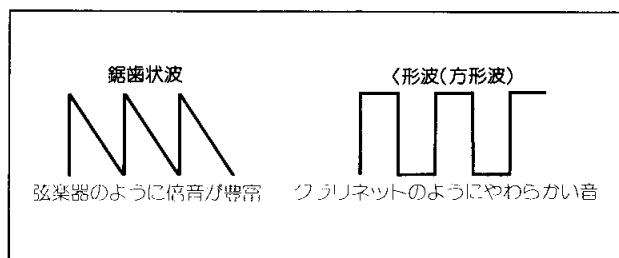
FEET レバー②から右側にあるレバー②③④は全て、POLY-SYNTH スイッチで MANUAL を選んだときだけ動作します。これらのレバーの設定位置によっては MANUAL スイッチを押しても音が出ないことがあります。あらかじめ左図のようにセットし、MANUAL スイッチを ON してください。

## ② FEET スイッチ

音源とする音域、波形及びフィルターの形式を選びます。8' のとき標準的な音域 C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub> の 5 オクターブの音域をカバーし、16' にすると 1 オクターブ音域が下り、反対に 4' にすると 1 オクターブ上ります。

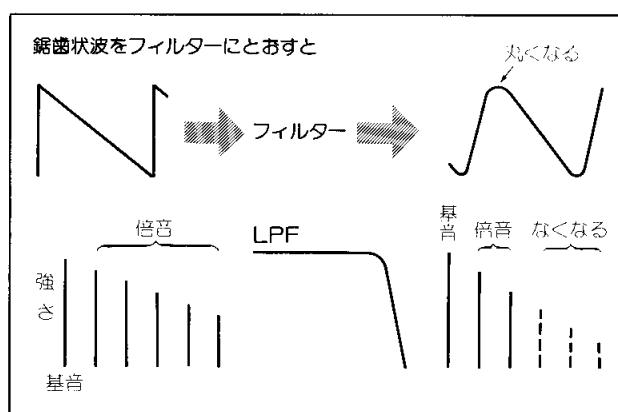
### ●波形について

音源の波形は鋸歯状波(▲)とく形波(◻)とがあります。鋸歯状波は整数倍の倍音を持つ波形で、弦楽器など一般的な楽器音の音源として使用します。く形波は奇数倍の倍音を持ち、クラリネットなど閉管楽器の音色とよく似ています。



### ●フィルターについて

倍音の一部をカットして音色をつくるのがフィルターの働きです。フィルターはある倍音以上をカットするローパスフィルター、LP が主体ですが、8' の鋸歯状波だけはバンドパスフィルター、BP を使用することができます。BP はある範囲の倍音だけを使用して音色をつくる時に使用します。



## FEET スイッチ



実際に FEET スイッチを切り換えてみて波形による音色の違い、音域の違いを確かめてください。つぎに 8' ◻ にして次をお読みください。

## ③ CUT OFF FREQ カットオフ周波数

マニュアルの基本となる音色をコントロールするレバーです。このレバーを H 側から L 側に下げるほど高次の倍音がかットされ、音色はまるく、ソフトになります。L 側いっぱいになると基音までカットして音が出なくなります。

## ④ RESONANCE レゾナンス

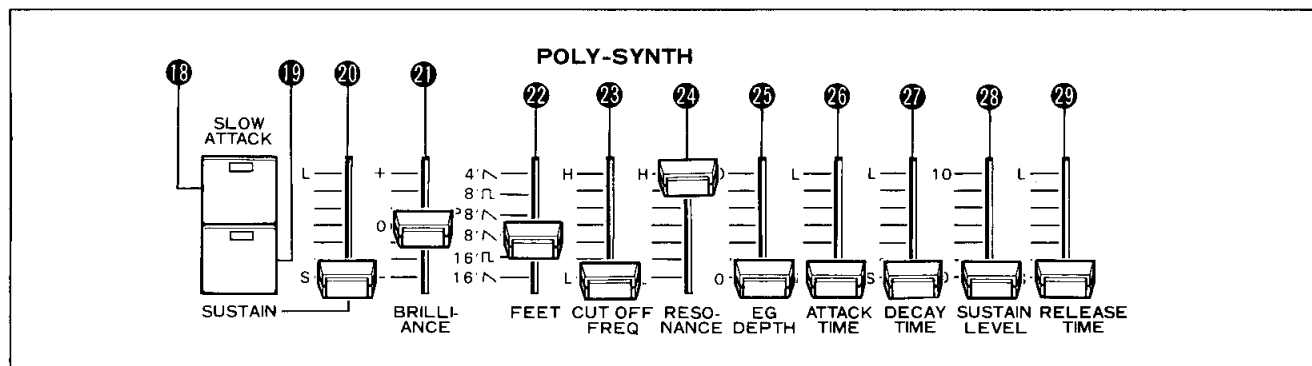
レバーを H 側に上げるとカットオフ周波数付近の倍音が強調され、張り、艶のある音色にすることができま

このレバーは CUT OFF FREQ レバー③の位置によって、変化の現われ方が異なります。RESONANCE のレバーを H 側いっぱい上げておき、いずれかのキーを押したまま、CUT OFF FREQ レバー③をゆっくり上下にスライドしてみてください。すると、ある位置でパワーと音量が最も大きくなります。この位置が実はフィルターの共振周波数、レゾナンスポイントです。そして、CUT OFF FREQ レバーをさらに H 側に上げると、今度はビヤーンとシンセサイザー独特の音の変化が得られます。

ところで、いま手で CUT OFF FREQ レバーを上下にスライドしましたが、これを電気的に行うのが次のエンベロープジェネレーター (EG: Envelope Generator) の役割です。

⑮の EG DEPTH から⑲ RELEASE TIME までのレバーは音が始めてから音が消えるまでの音色に時間的な変化を与えるエンベロープジェネレーターのコントロールです。エンベロープジェネレーターの動作を確認するために、CUTOFF FREQ レバー⑳をL側いっぱい、RESONANCE レバー㉑をH側いっぱいにセットしてください。

この状態で鍵盤を弾いても音はでません。



## ⑮ EG DEPTH EG デプス

このレバーは右側の4つのレバーで設定したエンベロープがカットオフ周波数を変化させる割合を調節します。このレバーが0から10方向にするほど変化が大きくなります。

このレバーは10側いっぱいまで上げてください。キーを押してもまだ音は出ません。

## ⑯ ATTACK TIME アタックタイム

鍵盤を押して音が出はじめてから、音色が最大変化に達するまでの時間を調節するレバーです。レバーをL側に上げるほどゆっくりと立ち上がります。

このことを確認するために、このレバーをL側に上げ、キーを押してみてください。これで音が出ます。しかし、パワービヤーン、ブツツという音です。レバーの位置でこのプロセスの長さが変化するはずですが、

このレバーはS側に戻してつぎに進みます。

## ⑰ DECAY TIME テイクタイム

最大変化から、持続時の音色に落ちつくまでの時間を調節するレバーです。

レバーをL側に上げるほどゆっくり落ちつきます。

このレバーをL側に上げるとアタックのときと反対のプロセスで音が変わります。そしてやはり最後は音が消えてなくなります。ATTACK TIME と DECAY TIME のレバーを両方いっぱい上げると音の変化が往復する様子がわかります。次のプロセスに進むときはやはりS側に戻してください。

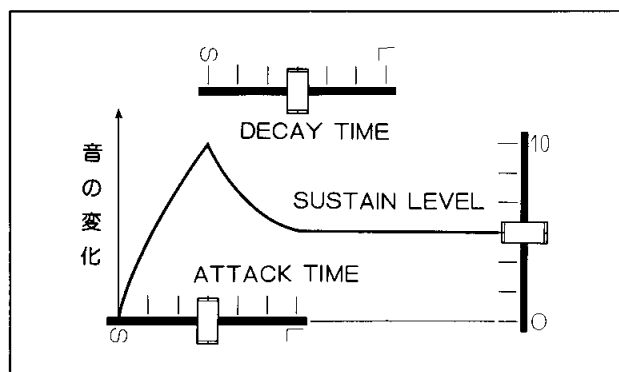
## ⑲ SUSTAIN LEVEL サスティーンレベル

音色のATTACK, DECAYの変化が終り、鍵盤を押している間持続するときの音色を調節するレバーです。

SUSTAIN LEVEL のレバーを10側に上げ、キーを押すと、レバーの位置によって音色が変化します。このときの音色の変化は、このレバーを0側にしておき、CUT OFF FREQ レバー㉑を上下したときと同じになります。確かめてみてください。

このレバーは、キーを押し続けているとき、持続時(SUSTAIN)の一定した音色を決める働きをします。

これまで説明した、ATTACK TIME, DECAY TIME 及び SUSTAIN LEVEL を同時にセットすると下図に示すような変化が得られるはずですが、



## ⑲ RELEASE TIME リリースタイム

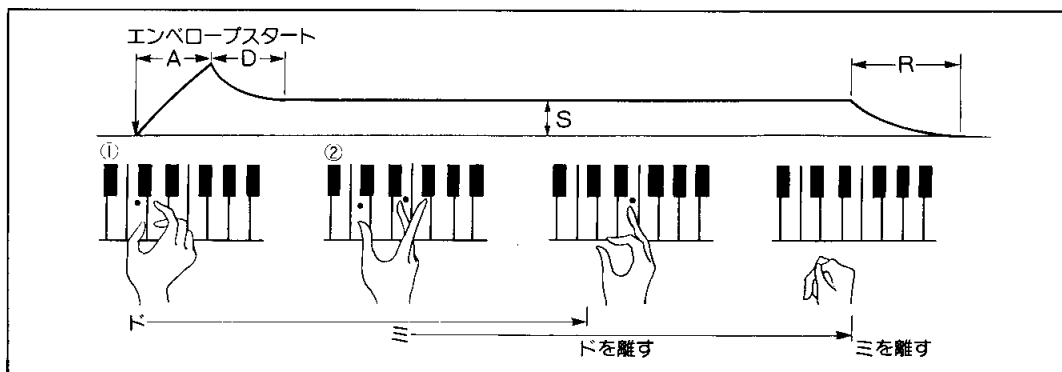
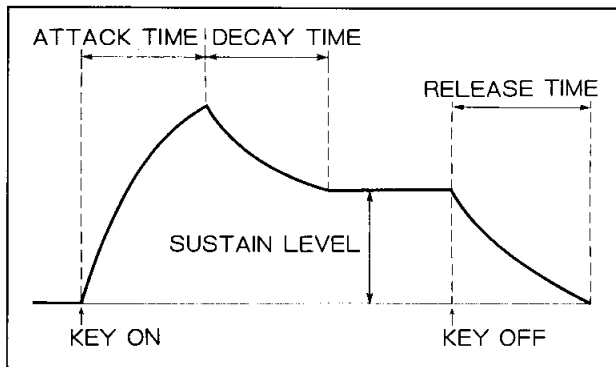
鍵盤を離してから音が消えるまでの音色の変化する時間を調節するレバーです。

RELEASE TIME のレバーを L 側に上げてても、鍵盤を離すと音が消えてしまうので思ったような効果は現われません。そこで SUSTAIN スイッチ ⑱ を ON にして、SUSTAIN レバー ⑳ を RELEASE TIME と同じように上げてください。すると、今度は鍵盤を離してからの変化を聞きとることができます。

以上の変化をまとめると右図のようなエンベロープ曲線が得られます。

- すでに鍵盤を押してエンベロープがスタートしているとき、次に押した他の音程ではエンベロープは変化しません。また離鍵によるリリースタイムは全ての鍵盤が離されたとき、最後に離した音程のタイミングで始まります。

エンベロープ曲線



## 参考例

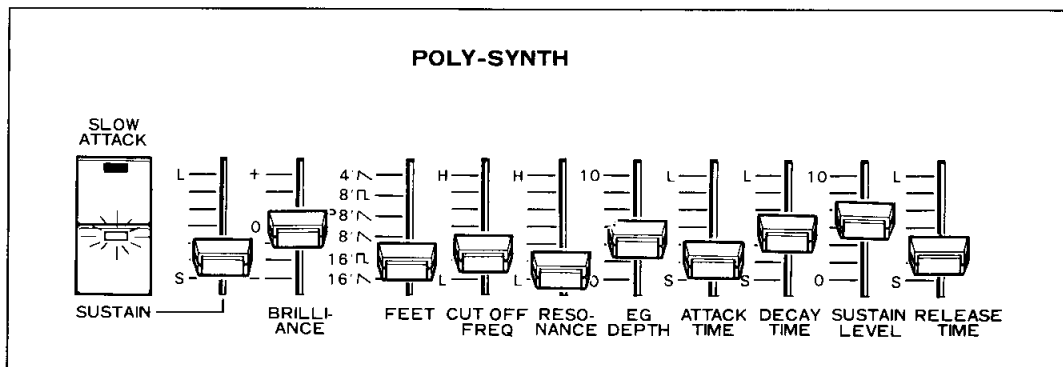
プリセットトーンにはプラス系の音色がセットされているので、ここではクラリネットのような軽やかな音色を作ってみます。

- MANUAL スイッチを ON します。
- 音源として FEET スイッチで 16' Π を選びます。
- フィルターのカットオフ周波数 (CUT OFF FREQ) 及び共振 (RESONANCE) を図のように設定します。

エンベロープジェネレーターを EG DEPTH, A, D, S, R のレバーで設定し、音色に変化を与えます。

- 離鍵後、音がブツと切れないように SUSTAIN スイッチを ON し、レバーを少し上げます。

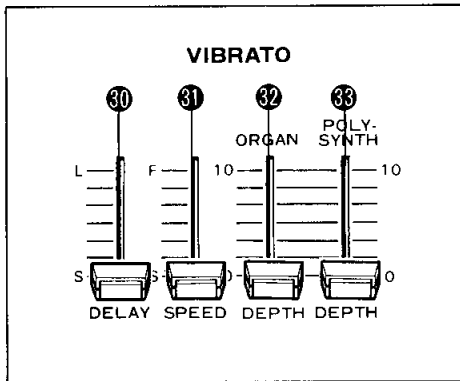
以上で出来上りです。あとはそれぞれのレバーを微調節して、好みの音色に仕上げます。特に、CUT OFF FREQ, RESONANCE で微妙に音色が変わります。



# 操作のしかた エフェクターブロック

SK20はエフェクター機能としてビブラート、トレモロ及びアンサンブル効果を持ち、きめの細かい音づくりができます。また、リアパネルに別売りのレスリースピーカーを接続したとき、レスリースピーカーのリモートコントロールもパネル上で行うことができます。

## VIBRATO ブロック



### 30 DELAY ティレイビブラート

音が出始めてからビブラートのかかり始める時間をコントロールします。レバーをL側にするとビブラー

トのかかり始めは遅くなります。

### 31 SPEED スピード

ビブラートのスピードをコントロールします。F側にすると早いビブラートが得られます。

### 32 ORGAN DEPTH

オルガンにかかるビブラートの深さをコントロールします。レバーを10側にすると強くビブラートがかかります。

### 33 POLY-SYNTH, DEPTH

ポリシンセ及びストリングスにかかるビブラートの深さをコントロールします。10側にすると強くビブラートがかかります。

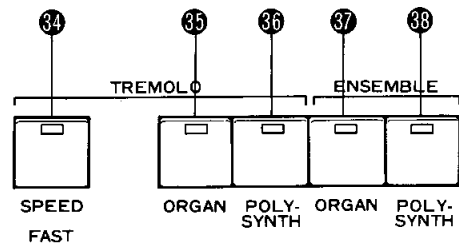
## TREMOLO/ENSEMBLE ブロック

トレモロとアンサンブル効果はオルガン部およびポリシンセ/ストリング部のそれぞれに独立してかけることができます。このとき、SK20だけを使用した演奏ではアンサンブル優先になっており、トレモロとアンサンブルを同時に使用することはできません。トレモロ及びアンサンブル効果はリアパネルのMIXED出力にのみかかり、スプリット出力(POLY-SYNTH, ORGAN)にはかかりません。

### ■ TREMOLO トレモロ

トレモロ効果、及びリアパネルのEXT TONECABINETに接続したレスリースピーカーをコントロールするブロックです。

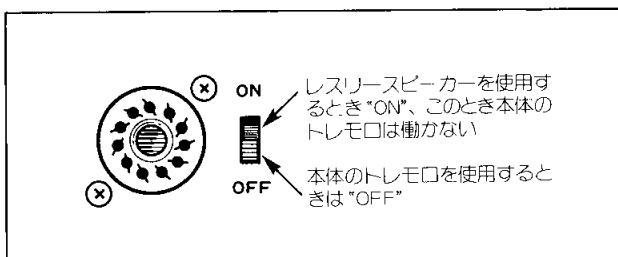
レスリースピーカーを使用せずSK20でトレモロをかけるときはリアパネルのEXT TONECABINETスイッチをOFFにしてください。このスイッチをONにすると、SK20内部ではトレモロはかからず、トレモロの各コントロールはレスリースピーカーのコントロールだけを行います。



### 34 SPEED スピードスイッチ

トレモロのスピードを電子的に変化させるスイッチです。スイッチを押しインジケータが点灯すると、スピードは徐々に早くなり、インジケータが点灯しているときスイッチを押すとスピードは徐々にゆるやかになります。

● EXT TONECABINET 端子に接続したレスリースピーカーの回転スピードのファースト/スローのリモートコントロールができます。



# TREMOLO, ENSEMBLE / KEYBOARD SPLIT

## 35 ORGAN, 36 POLY-SYNTH

### トレモロスイッチ

スイッチを押し、インジケータが点灯するとトレモロがかかります。もう一度押しと解除されます。

- アンサンブルスイッチ 37 または 38 が ON になっているとトレモロスイッチを ON しても、トレモロではなくアンサンブル効果がかかります。
- リアパネルの EXT TONE CABINET を ON にして EXT TONE CABINET 端子にレスリースピーカーを接続したとき、レスリースピーカーの ON/OFF はトレモロスイッチの表示どおり制御されます。

## ENSEMBLE アンサンブル

アンサンブル効果をかけると電子ディレイにより、重厚なサウンドが得られます。

## 37 ORGAN 38 POLY-SYNTH

### アンサンブルスイッチ

スイッチを押しインジケータが点灯すると、アンサンブル効果がかかります。もう一度押しと解除されます。

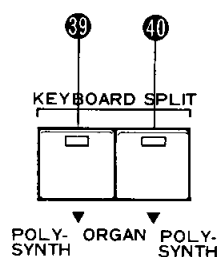
- ENSEMBLE スイッチ 37 または 38 を ON にすると、すでに ON になっている TREMOLO スイッチ 35 または 36 は OFF になり解除されます。

### アンサンブル優先



## KEYBOARD SPLIT ブロック

キーボードスプリット機能は鍵盤を中央の▼印の位置から左右分割してオルガン、ポリシンセ（ストリング）をそれぞれ独立して演奏できる機能です。SK20 は通常の演奏の場合、同時に7音まで発音するポリフォニックタイプのコンポオルガンですが、キーボードスプリット機能を使用すると左側7音、右側7音の合計14音までの演奏ができます。

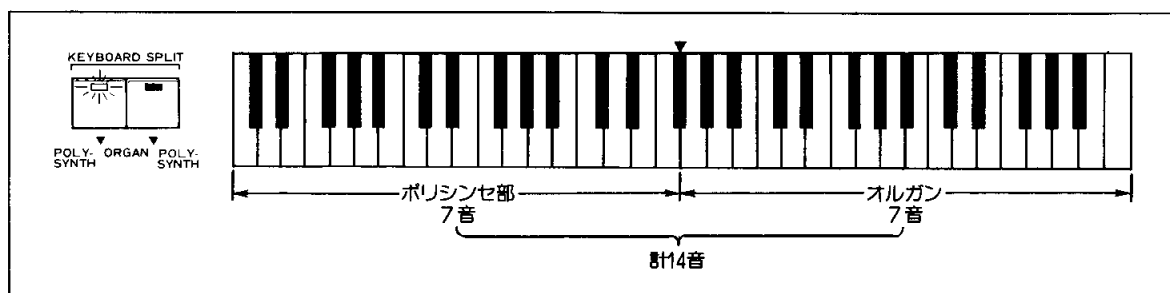


## 39, 40 KEYBOARD SPLIT

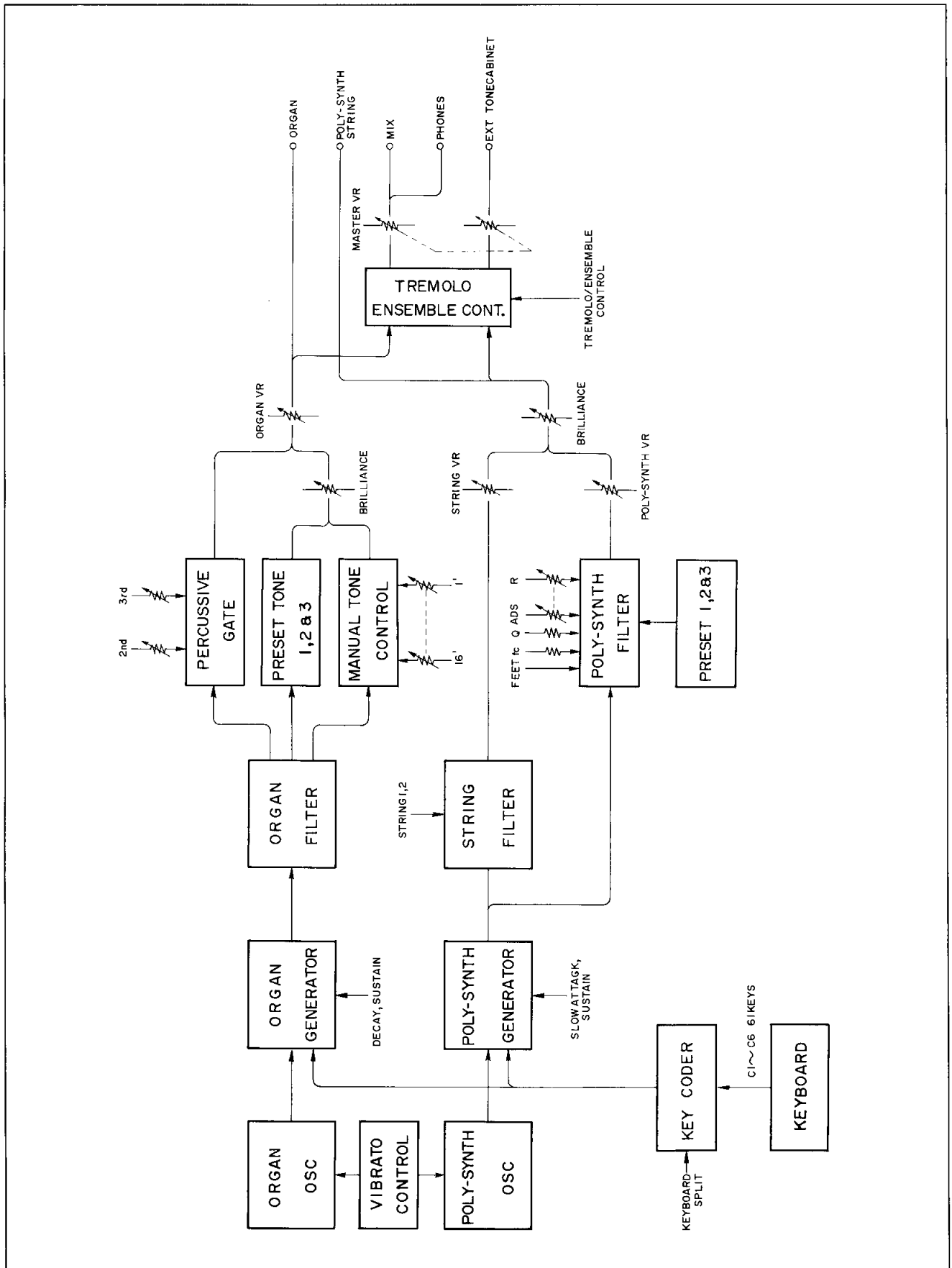
### キーボードスプリットスイッチ

KEYBOARD SPLIT スイッチ 39 を押し、鍵盤の中央の▼印から右側がオルガン、左側がポリシンセ及びストリングに分れ、スイッチ 40 を押しと反対に右側がポリシンセ及びストリング、左側がオルガンに分れます。スイッチをもう一度押しと通常のモードに戻ります。

### キーボードスプリット



# ブロックダイアグラム





# 参考仕様

鍵盤..... 61鍵、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub> 5オクターブ

## オルガン部

トーンレバー.....16', 8', 5 $\frac{1}{3}$ ', 4', 2 $\frac{2}{3}$ ', 2', 1'

PERCUSSIVE.....2nd, 3rd, DECAY TIME  
DECAY TIME ; 0.1~0.75sec

BRILLIANCE .....BRILLIANCEレバー

SUSTAIN.....SUSTAINレバー ; 30msec~1.6sec  
SUSTAINスイッチ ; ON/OFF

DECAY.....DECAYスイッチ ; ON/OFF  
DECAYレバー (SUSTAINレバーと  
共通) ; 30msec~1.6sec

トーンスイッチ ... ORGAN 1/ORGAN 2/ORGAN 3/MANUAL

## ポリシンセ部

FEET.....4 $\searrow$ /8 $\searrow$ L/BP8 $\searrow$ /8 $\searrow$ /16 $\searrow$ L/16 $\searrow$

VCF.....フィルター : BP ;  $\pm$  6dB/oct  
: LP ; -12dB/oct

CUTOFF FREQ : 可変幅 ; 10oct

RESONANCE : Q ; 0.5~10

EG DEPTH : 可変幅 ; 10oct

ENVELOPE GENERATOR ... ATTACK TIME ; 3msec~3sec

DECAY TIME ; 30msec~30sec

SUSTAIN LEVEL ; 0~10

RELEASE TIME ; 30msec~30sec

BRILLIANCE .....BRILLIANCEレバー

SUSTAIN.....SUSTAINレバー ; 30msec~1.6sec  
SUSTAINスイッチ ; ON/OFF

SLOW ATTACK・SLOW ATTACK スイッチ 8msec/80msec

トーンスイッチ.....POLY-SYNTH 1/POLY-SYNTH 2/  
POLY-SYNTH 3/MANUAL  
STRING 1/STRING 2

OUTPUT部.....ミキシング : ORGAN/STRING/POLY-SYNTH

MASTER VOLUME

LINE OUTスイッチ ; ON/OFF

PITCH部.....ORGAN  
POLY-SYNTH } 435Hz~450Hz

VIBRATO部.....DELAY ; 0~3.2sec

SPEED ; 5~7Hz

DEPTH : ORGAN  
: POLY-SYNTH }  $\pm$ 40cent

## ENSEMBLE/TREMOLO部 (ENSEMBLE優先)

ENSEMBLE.....ORGANスイッチ ; ON/OFF

POLY-SYNTHスイッチ ; ON/OFF

TREMOLO.....ORGANスイッチ ; ON/OFF

POLY-SYNTHスイッチ ; ON/OFF

SPEEDスイッチ ; FAST/SLOW

## KEYBOARD SPLIT部

KEYBOARD SPLIT.....POLY-SYNTH  $\blacktriangledown$  ORGAN ON/OFF,

ORGAN  $\blacktriangledown$  POLY-SYNTH ON/OFF

中央F# -G間で分離

## REAR PANEL

OUTPUT.....MIXED : -10dBm

ORGAN

POLY-SYNTH

PHONES

## EXT TONE CABINET

11ピンソケット, ON/OFFスイッチ

LESLIE #415, 715, 815他(11ピン,  
2チャンネルタイプ) 接続可能

CONTROLS.....MIXED VOLUMEジャック

STRING VOLUMEジャック

SUSTAIN FOOT SWジャック

発音数.....7音

KEYBOARD SPLIT時 ; 7音+7音

## その他

電源電圧.....100V, 50/60Hz

定格消費電力.....30W

寸法.....1000mm(幅)×158mm(高)×406mm(奥行)

重量.....15kg

仕上.....ビックボルトローズ木目仕様

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

# サービスについて

## ●保証

SK-20の保証期間は、保証書によりご購入から1ヵ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ年月日、販売店名などが必ず記入されている事を必ずご確認ください。無記入の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

## ●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申しあげられるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合は、お求めになられた販売店あるいは、日本楽器支店の電音サービス係までご持参頂きますと技術者が修理、調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。お求めの販売店から遠方に移転される場合は、事前に弊社支店までご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続きいたします。

## ●保証期間後のサービス

満1ヵ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、下記ヤマハサービス網までお問い合わせください。

## ●サービス網

- |        |         |                 |                          |
|--------|---------|-----------------|--------------------------|
| ●東京支店  | 電音サービス係 | ☎(03) 572-3111  | 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内     |
| ●横浜支店  | 電音サービス係 | ☎(045) 212-3111 | 横浜市中区本町6-61-1            |
| ●千葉支店  | 電音サービス係 | ☎(0472) 47-6611 | 千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内 |
| ●関東支店  | 電音サービス係 | ☎(0273) 27-3366 | 群馬県高崎市歌川町8番地/高崎センター内     |
| ●大阪支店  | 電音サービス係 | ☎(06) 877-5151  | 大阪府吹田市新芦屋下1-16           |
| ●神戸支店  | 電音サービス係 | ☎(078) 232-1111 | 神戸市葺合区浜辺通6丁目1-36         |
| ●四国支店  | 電音サービス係 | ☎(0878) 33-2233 | 高松市西宝町2丁目6-44            |
| ●名古屋支店 | 電音サービス係 | ☎(052) 201-5141 | 名古屋市中区錦1-18-28           |
| ●北陸支店  | 電音サービス係 | ☎(0762) 43-6111 | 石川県金沢市泉本町7-7             |
| ●九州支店  | 電音サービス係 | ☎(092) 472-2151 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4         |
| ●北海道支店 | 電音サービス係 | ☎(011) 512-6111 | 札幌市中央区南10条西1丁目           |
| ●仙台支店  | 電音サービス係 | ☎(0222) 95-6111 | 仙台市原町南目薬師堂北2-1           |
| ●広島支店  | 電音サービス係 | ☎(08287) 4-3787 | 広島市安佐南区祇園町西原2205-3       |
| ●浜松支店  | 電音サービス係 | ☎(0534) 74-0311 | 浜松市幸町3-5-8               |

## 日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL. (0534)65-1111	神戸店	〒650 神戸市生田区元町通2-188 TEL. (078)321-1191
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL. (03) 572-3111	四国支店	〒760 高松市西宝町2丁目6-44 TEL. (0878)33-2233
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL. (03) 572-3131	四国店	〒760 高松市丸龜町8-7 TEL. (0878)51-7777
渋谷店	〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 TEL. (03) 476-5441	名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. (052)201-5141
池袋店	〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL. (03) 981-5271	北陸支店	〒921 金沢市泉本町7-7 TEL. (0762)43-6111
池袋東ショップ	〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1/ ブランズウィックススポーツガーデン内 TEL. (03) 983-9914	九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. (092)472-2151
横浜支店	〒231 横浜市中区本町6-61-1 TEL. (045)212-3111	福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL. (092)721-7621
横浜店	〒220 横浜市西区南幸2-15-13 TEL. (045)311-1201	小倉店	〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL. (093)531-4331
千葉支店	〒280 千葉市千葉港2-1/千葉コミュニティセンター内 TEL. (0472)47-6611	北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目ヤマハセンター TEL. (011)512-6111
関東支店	〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内 TEL. (0273)27-3366	仙台支店	〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1 TEL. (0222)95-6111
大阪支店	〒564 吹田市新芦屋下1-16 TEL. (06) 877-5151	仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL. (0222)27-8511
心齋橋店	〒542 大阪市南区心齋橋筋2-39 TEL. (06) 211-8331	広島支店	〒730 広島市紙屋町1-1-18 TEL. (0822)48-4511
梅田店	〒530 大阪市北区梅田1-3-1/大阪駅前第1ビル内 TEL. (06) 345-4731	浜松支店	〒430 浜松市田町32 TEL. (0534)54-4115
神戸支店	〒651 神戸市葺合区浜辺通り6丁目1の36 TEL. (078)232-1111	浜松店	〒430 浜松市鍛冶町122 TEL. (0534)54-4111

